

Boston Loves Impressionism (2014年2月14日～5月26日)



クロード・モネ《睡蓮》1907年 Bequest of Alexander Cochrane 19.170 ★

名古屋ボストン美術館&ボストン美術館
メンバーシップ相互入館のご案内

名古屋ボストン美術館のメンバーシップ会員の方は、メンバーカードのご提示でボストン美術館にもご入館いただけます!

メンバーシップ制度のその他の特典について詳しくはこちらをご覧ください。

www.nagoya-boston.or.jp/membership/



ご利用案内

開館時間

火～金曜日	土・日・祝・休日	月曜日
10:00～19:00	10:00～17:00	休 館

*最終入館は閉館の30分前まで

*月曜日が祝・休日の場合はその翌日が休館(5/7、7/22は休館)

*4/29、5/5、5/6、7/21は午後5時まで開館

展示替え休館期間のご案内

3月24日[月]～4月18日[金]は休館

入館料金

一 般	高大生	中学生以下
1,300円 (1,100円)	900円 (700円)	無 料

()内は、前売・団体、平日午後5時以降の割引入館料金

◎平日午後5時以降の入館料金は、当館チケット売場にてご購入の場合に限りです。

◎入館料金は展覧会によって変更する場合があります。

◎団体料金は20名様以上に適用します。

◎学生の方は学生証など証明書をご提示ください。

◎身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳(知的障害者)、被爆者健康手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示の方は学生料金でご入館いただけます。なお、介護者は1名無料。

◎他の割引との併用はできません。

交通案内

JR東海道・中央本線、地下鉄名城線、名鉄名古屋本線「金山」駅下車、南口前
駐車場：当館ビル地下に公共駐車場あり(有料)

Facebook ページもご覧ください。

名古屋ボストン美術館ニュース 第53号 企画・編集・発行/公益財団法人 名古屋国際芸術文化交流財団
All photos marked with ★: Courtesy, Museum of Fine Arts, Boston. Photographs ©2014 Museum of Fine Arts, Boston. All rights reserved. Photographs may not be reproduced or electronically modified in any medium, including but not limited to, television, without specific written permission from the Department of Rights and Licensing, Museum of Fine Arts, 465 Huntington Avenue, Boston, MA 02115, Fax: (617)369-4340. [禁・無断転載] 発行日/2014年3月10日 古紙/パルプを含む再生紙を使用しています。

イベントのご報告

講演会「ボストン美術館の北斎」2013年12月21日[土]開催

講師：セーラ・トンプソン氏 (ボストン美術館 日本美術課浮世絵版画室室長)

浮世絵が世界にどのように知られていったか、ボストン美術館の浮世絵コレクションがどのように形成されたかを、豊富な写真資料と共にお話しいただきました。浮世絵への強い思い入れが伝わってくる講演に、「大切に扱われていて喜ばしく思う」などの感想が寄せられました。



セーラ・トンプソン氏

講演会「浮世絵版画の色材調査—北斎の青—」

1月26日[日]開催 講師：下山進氏 (吉備国際大学副学長 大学院文化財保存修復学研究科長)

北斎の「青」を中心に、浮世絵に使われている顔料や染料などの色材についてお話しいただきました。同じ青色でも、「露草」「藍」「ペロ藍」と色材によって特徴があること、北斎はそれぞれの特徴を作品上で生かすように使い分けていたことを《富嶽三十六景》シリーズと《諸国瀧廻り》シリーズを通してご紹介いただきました。



下山 進氏

摺りの実演会 2月1日[土]開催 摺師・解説：アダチ伝統木版画技術保存財団

《神奈川沖浪裏》を実際に摺るイベントを実施しました。実演は、アダチ伝統木版画技術保存財団の摺師・京増さん。微妙な色の調整、刷毛でのぼかしなど、作品が完成するまでをご覧いただきました。



職人の技術を間近で!

ゲストレクチャー ①「北斎の真実」1月11日[土]

②「広重作品に見え隠れする北斎」2月8日[土]開催

2回シリーズで実施したゲストレクチャーの1回目は、名古屋市博物館副館長の神谷浩氏が講師。北斎と名古屋の関わりにも触れながら、北斎に対する熱い思いを語ってくださいました。2回目は中山道広重美術館学芸員の福田訓子氏を迎え、同じテーマを描いた広重と北斎の作品のそれぞれの魅力をお話しいただきました。



名古屋市博物館 神谷副館長



中山道広重美術館 福田学芸員

ペアートーク 2月11日[火・祝]開催

ヤマザキマザック美術館とのコラボレーション・トーク。今回のテーマは「植物」と「小さな生き物」です。北斎の花鳥画シリーズの《朝顔に蛙》を中心に両学芸員が掛け合いで展覧会をご案内しました。



作品の中の蛙やトノボを比較

富士百景大賞

皆様から富士山の絵ハガキを募集した「富士百景大賞」。寄せられた202点の中から大賞を含む6点が選ばれ、表彰式を行いました。大賞を受賞した名古屋市の田中美有さんの作品は、《神奈川沖浪裏》からヒントを得た、サーフィンをする人々と富士山。受賞作品他、全作品を館内で展示しました。



絵画、版画、コラージュ…たくさんの作品をご応募いただき、ありがとうございました!



15周年記念展予告

美術する身体—ピカソ、マティス、ウォーホル

9月20日[土]—11月30日[日]

時代を超えて、芸術家の制作意欲をかき立て続ける主題「身体」。第二次世界大戦以降、世界情勢が大きな転換期を迎える中で、芸術家は人の姿をどのように捉え、表現したのでしょうか。本展では、ヨーロッパの近代美術を形作った、デュビュッフエ、マティス、ジャコモッティをはじめ、ウォーホルやカットツなど、アメリカを代表する芸術家の油彩・版画に、メイプルソープやハーブ・リッツらの写真を加えた約100点により、美術と身体がどのようにに関わり、芸術家が身体に何を託してきたのかを探ります。ピカソの晩年の傑作《サビンの女たちの略奪》は日本初公開です。

ボストン美術館 華麗なるジャポニスム展
——印象派を魅了した日本の美

2015年1月2日[金]—5月10日[日]

19世紀後半から20世紀初頭にかけて、西洋の芸術家たちは日本の浮世絵や工芸と出会い、大きな影響を受けました。本展では、浮世絵をはじめ、絵画、版画、素描、写真、工芸など厳選された約150点から、西洋の芸術家たちが何を学び取り入れ、新たな美を創造したのか、さまざまな角度で検証します。またクロード・モネの大作《ラ・ジャポネーズ》を、修復後世界に先駆けて初公開します。



クロード・モネ《ラ・ジャポネーズ(着物をまとったカミーユ・モネ)》1876年 1951 Purchase Fund56.147 ★

NEWS

名古屋ボストン美術館ニュース 2014春 No.53



ジャン＝フランソワ・ミレー《種をまく人》1850年 Gift of Quincy Adams Shaw through Quincy Adams Shaw, Jr. and Mrs. Marian Shaw Haughton 17.1485 ★

開館15周年記念

ボストン美術館 ミレー展

バルビゾン村とフォンテーヌブローの森から

2014年4月19日[土]—8月31日[日]

2014年4月に開館15周年を迎えます

開館15周年記念

ボストン美術館 ミレー展

バルビゾン村とフォンテーヌブローの森から

2014年4月19日(土) - 8月31日(日)

生誕200年、《種をまく人》待望の再来日!

ミレーとバルビゾン派の名作に出会う旅に、ようこそ。



図1) 《自画像》1840-41年頃
Museum purchase with funds donated by
contribution 93.154 ★

ミレー (図1) は、フランス北西部のノルマンディ地方の農家に生まれました。1837年にパリに出て美術の教育を受け、画家としての成功を目指してサロン(官展)に挑戦し続けます。1849年、ミレーはパリの南東約60キロにある農村バルビゾンに移住します。そこで、《種をまく人》(表紙)、《馬鈴薯植え》(図2)、《羊飼いの娘》(図7)といった農村に暮らす人々の姿を描いていきました。同時に、室内で家事に勤む女性や編物を習う娘のほほえましい姿(図3)もとらえています。

ミレーが暮らしたバルビゾン村は、広大なフォンテーヌブローの森に隣接しています。19世紀、森の美しく豊かな自然に惹かれ、コロ、ルソー、ディアズ、そして若きモネ(図4)といった多くの画家が訪れました。彼らはスケッチの道具を持って奥深い森や岩場、周囲に広がる草原に出掛け、風景や天候をよく観察し、丁寧に自然の姿をとらえ、作品を制作しました。彼らの作品は、印象派に代表されるのちの絵画にも影響を与えていきました(図5)。



図2) 《馬鈴薯植え》1861年頃 Gift of Quincy Adams Shaw through Quincy Adams Shaw, Jr., and Mrs. Marian Shaw Haughton 17.1505 ★



図3) 《編物のお稽古》1860年頃
Gift of Quincy Adams Shaw through Quincy Adams Shaw, Jr., and Mrs. Marian Shaw Haughton 17.1504 ★

世界に誇るボストン美術館のミレー・コレクション

ボストン美術館には、ミレーの油彩画、パステル画、版画、素描など併せて170点に上る作品が収蔵されており、世界でも最も包括的なミレー・コレクションとして知られています。本展では、そのコレクションから

《種をまく人》《刈り入れ人たちの休息(ルツとボアズ)》(図6)《羊飼いの娘》の“ボストン美術館の三大ミレー”が初めて日本で同時公開となります。これらを含む選りすぐりのミレーの油彩画25点に、同館の充実した19世紀ヨーロッパ絵画コレクションから油彩画をあわせて64点展示する贅沢なラインアップにより、ミレーの魅力を多角的に紹介します。



図6) ジャン=フランソワ・ミレー 《刈り入れ人たちの休息(ルツとボアズ)》1850-53年
Bequest of Mrs. Martin Brimmer 06.2421 ★

図録と音声ガイド

- ◎「ボストン美術館 ミレー展」図録：2,200円(税込)
- ◎音声ガイド貸出：500円(税込)

展覧会特設ページ：<http://www.nagoya-boston.or.jp/millet>



図4) クロード・モネ 《森のはずれの薪拾い》1863年頃
Henry H. and Zoe Oliver Sherman Fund 1974.325 ★



図5) ジュリアン・デュプレ 《ガチョウに餌をやる子どもたち》1881年
Gift of Louisa W. and Marian R. Case 20.1865 ★

講演会・イベントのご案内

講演会【事前申込制】

[1]「ミレー、バルビゾン、ボストン：画家と故郷と支援者たち」

日時：4月19日(土) 14:00~15:30

講師：マルコム・ロジャース氏 ※逐次通訳付
(ボストン美術館館長 ヨーロッパ美術部部長)

【締切：3月31日必着】

[2]「ふたつの《種をまく人》をめぐる」

日時：6月14日(土) 14:00~15:30

講師：井出洋一郎氏 (府中市美術館館長 美術評論家)

【締切：5月26日必着】

[1][2]共通 場所：名古屋都市センター 11階ホール

定員：150名 / 聴講無料 / 要当日入館券または半券

当館学芸員によるテーマ別レクチャー

「ミレーと農民」：5月31日 「ミレーとバルビゾンの仲間たち」：6月21日

「ミレーと働く女性たち」：7月5日 「ミレーとその遺産」：7月19日

いずれも土曜日 14:00~14:30

場所：5階レクチャールーム

定員：40名 / 聴講無料 / 要当日入館券 / 当日先着順

※13:00から3階受付にて整理券配布

ヤマザキマザック美術館とのペアトーク

「バルビゾン派と印象派をめぐるせーヌ川の旅」

当館学芸員とヤマザキマザック美術館学芸員が

一緒に展覧会をご案内します。

①) 日時：4月27日(日) 定員：20名

場所：ヤマザキマザック美術館 展示室

(名古屋市東区葵1-19-30)

②) 日時：5月10日(土) 定員：40名

場所：名古屋ボストン美術館5階レクチャールーム

各回とも14:00~14:40 / 聴講無料 / 要当日入館券またはその半券 / 当日先着順

※13:00から①)1階受付で参加証を②)3階受付で整理券を配布

「ミレーゆかりの地とフランスカルチャー教室」【事前申込制】

ノルマンディ、パリ、バルビゾン…ミレーにゆかりのあるフランスの土地と、楽しいフランスの文化や習慣をご紹介します。

日時：5月25日(日) 14:00~15:00

場所：5階レクチャールーム

講師：小林久見子氏 (アリアンス・フランセーズ愛知フランス協会)

定員：40名 / 聴講無料 / 要当日入館券

【締切：5月6日必着】

ゴールデンウィーク

GW 最終日に、「じゃがいものスープ」プレゼント!!

5月6日(火・休)にご来館の先着150名様に、「じっくりコトコト クリーミーじゃががいものスープ」をプレゼント! 協賛:ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社



図7) ジャン=フランソワ・ミレー 《羊飼いの娘》1870-73年頃
Gift of Samuel Dennis Warren 77.249 ★



Alliance Française

Go!Go! 家族でびじゅつかん

開催期間：4月26日(土)~5月6日(火・休)、7月19日(土)~8月31日(日)

期間中は中学生以下1名につき同伴の保護者2名の当日入館料金を200円割引。家族で気軽にご参加いただける様々な企画を行います。

①「油絵ってナンダ?」

日時：4月29日(火・祝)、5月5日(月・祝)、8月7日(木) 各日 14:00~14:30

場所：5階図書コーナー 定員：10名程度

②「心の眼で見る体験」

日時：7月30日(水) 14:00~14:30

場所：5階レクチャールーム→展示室 定員：5組10名程度

Go!Go! カップルで美術館

開催期間：7月1日(火)~6日(日)

期間中は高校生以上で当日入館券をご購入のカップルを対象に入館料金を200円割引。ペアで楽しむ企画もご用意しています。

③「心の眼で見る体験」

日時：7月1日(火)、6日(日) 各日 14:00~14:30

場所：5階レクチャールーム→展示室 定員：5組10名程度

①②③とも参加無料 / 要当日入館券 / 当日先着順

※当日13:30から3階受付にて整理券配布

日米アート交流プログラム「Video à la Millet」【事前申込制】

ミレーの名作《種をまく人》がまいた種から何が生えてくるかな?名古屋とボストン、両都市の子どもたちで協力して手書きのアニメーションを制作するよ!

日時：7月27日(日) 13:30~16:00

対象：小中学生25名 場所：5階図書コーナー

参加費：200円(ただし保護者の入館には要入館料)

【締切：7月15日必着】(受付開始：4月19日)

ナボンのヒントブック&ぬりえ

作品の見どころを分かりやすく解説したヒントブックと、作品を好きな色で表現するぬりえをご用意しています。



●事前申込制イベントの申込方法●

往復ハガキもしくはメールフォームに以下の必要事項をご記入の上、お申込みください。

※応募者多数の場合は抽選になります。

当落に関わらずお申込みいただいた方法で結果を通知いたします。

〈往復ハガキ〉

①希望の講演番号 または イベント名 ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④氏名 ⑤年齢 ⑥参加人数(最大2名まで)

〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1-1

名古屋ボストン美術館「ミレー イベント」係

〈メール〉

当館ホームページ内の申込メールフォームをご利用ください